

住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第86号 平成24年2月29日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
編集者 佐伯晴子
発行責任者 南 圭三郎

目次

農家さん訪問記 (70)	p. 1
住友化学アグログループ T S P の取組みと住化ファームの紹介	p. 6
住友化学アグログループ紹介 日本エコアグロ(株)	p. 9
今月の肥料紹介	p. 10
今月のお奨め農薬	p. 11
今月のご相談から	p. 12
農薬登録情報	p. 14
病害虫発生情報	p. 15
トピックス 「ブルーMCが農林水産技術会議会長賞受賞」	p. 15
最近の「お・・美味しい！」	p. 16
編集後記	p. 17



カケス (カラス科) とキンカン (ミカン科)
富樫 信樹 画

農家さん訪問記(70)

冬～春キャベツ生産に真っ向勝負！

寒波襲来で今にも雪がチラつきそうな正午頃、私たち取材陣は豊橋駅に到着しました。豊橋市はキャベツ、それもこの真冬に収穫する寒玉キャベツの全国有数の大産地です。この地域で J A 豊橋のキャベツ部会長として各地区役員 11 名と部会員 630 名とともに、生き活きと農業に取り組んでいる神田健二さん (41 才) にお話を伺いました。日中は農作業で時間が合わない為、夕方からの取材となりました。取材後も部会の会合が予定されていて、キャベツの作況について情報交換を行うとのことでした。(取材日：1月16日)

「ほの国」は「穂の国」から



神田健二さん (J A 豊橋会議室にて)

豊橋市は愛知県の南東部に位置し、東は静岡県との県境に接し、南は太平洋、西は三河湾に面した比較的平坦な地形です。穏やかな気候にも恵まれ、冬キャベツのみならず、トマト、レタス、ブロッコリー、えんどうまめ等何と約 70 種類もの作物が栽培されています。この地域は、「三河国」の東部ということで、東三河地方と呼ばれていますが、豊橋市はその中核市になります。ここ東三河地方を「ほの国」と呼び、地域一体化を醸成する為のもう一つの名前として、最近 PR しているようです。これは古代に存在した豊かな実りを意味する「穂の国」に由来しているとのことです。

家族の為に、そして自分の夢の実現に取り組む



立派に成長した収穫直前のキャベツ

神田さんに、キャベツ栽培を始めたのはいつからですか？とお聞きしました。キャベツ部会長もされているとのことで、当然かなりの年月に渡り栽培に取り組まれていると想像していました。ところがその答えは意外や意外、何と就農して僅か5年とのことでビックリした次第です。ご本人はそれまでは、サラリーマンとして活躍されていたそうです。

そんな神田さんがどういうきっかけで就農したかをお聞きしました。神田さんは次男ではありますが、ご長男が家から独立されていることから、勤めていた会社を退職して5年前（36歳の時）に就農しまし

た。これは元々、いずれ家に戻らなければという思いがあったのと、サラリーマン時代は帰宅が毎日遅く仕事がハードだったことへの疑問があり、その一方で自然を相手にした農業への魅力も感じていたそうです。いずれ両親も高齢になり、キャベツ生産を継続する為には「自分が就農するしかない」ということも現実問題としてありました。そのことが神田さんを新たな夢「自然と共生するキャベツ生産へ！」と決意させる決め手になったようでした。

移植の機械化が大規模栽培を可能に



128穴のセルトレイが並ぶハウス

神田さんのお宅の家族構成は、ご両親と奥様、そして中学三年生と小学校六年生のお嬢さんの6人家族です。そして、キャベツ栽培に携わっているのは、ご両親と神田さんご夫婦の4人だけです。アルバイト等に頼らないまったくの家族労働で栽培しています。これを可能にしているのは、は種作業のJAへの全面委託と移植作業の機械化です。キャベツの栽培の作業工程についてお聞きしました。は種されたセルトレイを育苗ハウスに設置してからが神田さんの出番です。

キャベツが発芽した後の管理の中で、特に双葉から本葉が2枚開くまでの管理が最も重要です。かん水をやり過ぎないようにしたり、肥料切れが無いようにするのがコツです。育苗期間の目安は約25日で、本葉が3～4枚になったらそろそろ定植適期苗ということになります。これでいよいよ移植機にトレイをセットして定植開始です。移植機は2条植えの全自動です。この移植の機械化が、家族4人だけで7ヘクタールという規模拡大を可能にしていると言っても過言では無いようです。



育苗ハウス

神田さんのキャベツ栽培で労働力が重要となる作業は、①育苗管理 ②移植作業 ③収穫作業ということになります。これらの作業は家族全員で行います。

冬春キャベツ日本一の自負！

愛知県、それもここ東三河地方は冬春キャベツ生産量日本一を誇っています。キャベツを品種で分類すると冬系キャベツと春系キャベツの2系統に大別出来ます。冬系は硬くしまっていて、ロールキャベツなどの煮物やお好み焼きに適しています。そして加熱すると甘みが増し、風味が出るという特徴があります。一方、春系は柔らかく、サラダや千切りなどの生食向けといえます。

J A豊橋のキャベツの推奨品種を教えてくださいました。冬系7品種、春系8品種、春夏キャベツ9品種です。神田さんはこの中で冬系と夏キャベツを栽培しています。

契約栽培で安定収入を！

神田さんは秋冬～夏まで一貫してキャベツを栽培しています。冬系は7月中旬～8月末に「は種」し、11月から収穫ですが、今年は寒波と干ばつで生育が遅れていて、価格は高いものの収穫出来る量が少ないようです。そして、11～12月に収穫した後の畑に、夏キャベツを栽培します。そして夏系の栽培に入りますが、10月中旬～1月10日には種、5月中旬～6月末まで収穫します。この収穫が終わると間もなく新たなシーズンに向けた作業が再び開始されることとなります。

そして、神田さんが今最も重視しているのは、娘さん二人が独り立ちするまでの生活設計です。これを実現するためには、一時的な高収入より、安定した収入を確保し生活を安定させることを最優先とした農業の実現を目指しています。その為に、現在生

産量の約50%をJ Aと連携した「契約栽培」に取り組んでいます。この契約栽培の大きなメリットは以下のような点にあります。①安定収入が得られて生活設計が確立出来ます。②収穫作業時の規格別に選別する手間が、ダンボール箱による通常出荷と比べて簡略化が出来ます。③「鉄コンテナ」での出荷が可能なので、ダンボールのコストが削減出来ます。

但し、契約栽培で厳しいのは、決められた時期に決められた数量を必ず出荷しなければならないことにあります。天候不順も考慮に入れると、極めて短期間に、は種作業を行う必要があります。この為、育苗トレイがハウス内に収まりきれないこともあり、野外に置いたトレイが台風等の風雨で大きなダメージを受けることもあったそうです。



暗くなるまで熱心に語って
頂きました



施肥、中耕、防除まで使える汎用トラクター



神田さん宅の箱詰め作業ライン



隣には収穫済みの圃場も！

自然を相手にしたキャベツ栽培なので、当然当初予定した時期に必要な数量が出荷出来ないこともあります。そのような場合に備えて生産農家の出荷数量調整が定期的な打ち合わせの中で行われていて、リスクを最小限に留めるようにはなっているそうです。とは言え、最悪の場合は契約不履行でペナルティーが科せられるということで、厳しい面も合わせ持っているのが現実です。もちろん、今シーズンのように価格が高騰した場合は指をくわえて見ているしかないという年もあります。

エコファーマーについて



エコファーマー認証表示ダンボール

JA豊橋キャベツ部会では消費者に安全・安心なキャベツを提供する為に、栽培履歴を部会員全員に記帳してもらっています。さらに、エコファーマーの認定取得にも取り組んでいて、全員の認定を目指しているとのことでした。認定された生産者は、有機物を施用した土作り、化学肥料の低減、化学合成農薬の削減に取り組んでいます。

しかし、キャベツ栽培においては根こぶ病、黒腐病等の病害対策やヨトウムシ類等の防除も重要な課題です。ただ、昨年の秋は台風の影響によるものかヨトウムシ類の発生は非常に少なかったとのことでした。

日本の冬キャベツは東三河が支えている！



神田さんの名前入りダンボール

神田さんは経営安定の為に契約栽培とともに、大きさ別に選別したキャベツをダンボールに詰める通常の出荷も行っています。契約栽培と通常出荷の割合は、それぞれ約50%とのこと。さて、通常出荷の場合のケース詰めですが、標準は「8玉入り」の満杯詰めが基準です。ただ、大きさにより5~10個詰めとなりますが、その場合は該当する個数に○印をつけます。神田さんのように出荷数量の多い生産者の場合は、「生産者名が印刷」されたダンボールを使用します。

ケース詰めを終了したキャベツをJAの集荷場にもって行き、大型トラックに積み込んで、東京、大阪、名古屋の各中央卸売市場に出荷します。愛知県野菜振興方針の資料(平成23年3月)で、各市場における愛知県産キャベツのシェアを確かめてみました。それによると、東京市場では12~3月は50%台、大阪市場では11~1月には50%台、そして地元名古屋市場の12~3月では何と90%以上という驚異的なシェアとなっていました。

70歳になっても続けられる キャベツ栽培を夢見る

お子さんがまだ中学生と小学生ということで、将来の問題でしょうが「キャベツ栽培の後継者は？」とお考えを聞いてみました。神田さんは「娘たちに継がせ



このようなキャベツ畑が点在しています

る考えもないし、そのつもりも無いだろう」と割り切っていました。それよりも、自分が70歳になっても続けられるように、あらゆる面で生産の機械化、合理化を推し進めて行きたいと将来の夢を語ってくれました。

「今、農薬メーカーに期待することは？」との問いには、「移植時に使える広葉雑草除草剤」が欲しいとのことでした。さらに、農業機械メーカーに対する要望として、短期間に一気に定植が出来るような、**もっともっと効率的な全自動移植機**があれば良いな—ということでした。これが実現すれば70歳でも十分キャベツ栽培は可能になるのだが…と話してくれました。

農閑期は無く、キャベツ栽培に夢中！

神田さんに「ご趣味は？」とお聞きしました。その答えは簡単明瞭！「自然と植物を相手にして、毎日仕事の出来るキャベツ栽培に取り組めることが一番楽しい」と、何の迷いも無い答えが返ってきました。それも何とも言いようのない、人なつこい笑顔で…、こちらはてっきりゴルフとか、パチンコ、釣り等と、勝手な想像をしていたのですが、見事に予想が外れてしまいました。



このキャベツの出荷は2月以降！

以前はお子さんとスキーやキャンプにも行っていたのですが、今は二人とも習い事等で旅行にも行けなくなっているようです。しかし、その話しぶりからは寂しさはまったく感じられません。子供たちの将来を磐石にすることが、「親としての義務であり最大の喜び！」という姿勢にはいささかの揺るぎが無いことを実感しました。

あとがき

ここJA豊橋管内のキャベツ生産は、夏キャベツの大産地である群馬県嬭恋村とはかなり様子が違ってきます。嬭恋村は丘陵地帯に果てしなく続く一面のキャベツ畑が有名ですが、こちらの畑は1枚が30~40アール程で、なだらかな丘陵地帯に点在しています。神田さんはキャベツ専業で、栽培面積は約7ヘクタールですが、自分の畑は3ヘクタールで、後の4ヘクタールは借地です。畑1枚毎に条件が異なる為、土壌の分析等きめ細かい管理が重要です。こちらでは東三河農林水産事務所農業改良普及課とJAが一体となって、農家一戸ごとに作業工程を含めきめ細かく分析し、どうしたらより作業効率を高められるかについて分析を行ったそうです。このような地道な活動が、農家との信頼関係を確立し、高品質のキャベツ生産に繋がっていることを実感しました。



付近の畑は一枚の畑で異なる品種を栽培していました

今回の取材はJA豊橋営農部 土屋博之様と株式会社石黒製薬所 木村共智様のご協力を実現しました。お忙しい中、取材にお付き合い頂き有難うございました。

(鈴木、小川)

[目次へ戻る](#)

新シリーズスタート!

いつも、どこでも、農業と。

住友化学アグログループTSPの取組みと住化ファームの紹介

第1回 (株)住化ファーム長野

ご紹介の前に・・・住友化学アグログループは次の一歩へ

化学と農業。一見結びつきにくい2つの言葉は、実は住友化学の歴史の中で重要な位置を占めています。なぜなら99年前、銅製錬で排出されるガスから肥料を生産したことが事業の出発点だからです。住友化学は肥料の製造から事業を開始して以来、長年、農薬事業をはじめ、種子・苗、肥料、その他の農業資材などそれぞれのフィールドで事業を展開し、日本の農業を支え続けてきました。

ところが、農業を取り巻く環境変化*を目の前にし、今こそ肥料・農薬の製造・販売など幅広く手がける住友化学グループの力を結集し、もう一歩踏み込んでみよう、自らの手で新しい変化を生み出そうと考えました。そのための手段が、自らが「**TSPとなること**」であり、**農業法人「住化ファーム」の設立**でした。

*耕作面積の減少・生産者の高齢化などの農業生産構造自体の変化や消費者の安全・安心志向の高まりを背景とした農作物の流通自体の変化

★TSPって・・・?

TSPとは「トータル・ソリューション・プロバイダー (Total Solution Provider)」の略。住友化学グループの農業関連資材・サービス、栽培技術、経営ノウハウから農産物販売までを提供することで、農業の全ての分野において農業生産者の皆様に総合的に支援します。

【TSPにかかわる住友化学アグログループ関連事業・会社・事業内容】

- 住友化学(株) (肥料・農薬・農業経営支援システム)
- サンテラ(株) (ハウス資材・農POフィルム)
- 住化農業資材(株) (栽培技術・灌水資材・野菜の種子&苗)
- (株)住化分析センター (土壌分析・栄養成分と残留農薬の分析)
- 日本エコアグロ(株) (農産物販売・作物の選定&販売支援・肥料設計・栽培指導)

※TSPについて詳しくはコチラ! ⇒ <http://www.i-nouryoku.com/link/tsp.html>

総合的な支援!

★住化ファームって・・・?

住友化学が運営する農業法人の名称です。

住化ファームの狙いは、自身が生産者のリーダーとなり、この国の農業を牽引することではありません。あくまで、**地域農業の活性化の一助となること**であり、同じ志を持つパートナーと集い、ともにこれからの農業を作っていくことです。

たとえば、住化ファームでの経験を通じて、高品質・高付加価値を実現する栽培技術を確立することができます。また、流通・販売の分野で新しいチャネルを作り出すことが可能になります。こうした試みの成果は、全国の生産者の皆様にノウハウとして提供できます。

その意味で、住化ファームは**新しい農業のための実験・実証の場**です。特に生産技術に関しては生産者と親密なコミュニケーションをとることができ、各社の資材を有効に利用した総合的な農業支援が可能になります。また、農場経営は耕作放棄地の解消や雇用の創出にもつながります。ひいては後継者の育成にも役立ち、**地域貢献**の幅に広がりをもたせることができます。

【現在の住化ファーム】

- (株)住化ファーム長野 (長野県中野市/いちご)
- (株)住化ファームおおいた (大分県豊後大野市/トマト)
- (株)住化ファーム山形 (山形県中山町/トマト)
- (株)住化ファーム三重 (三重県志摩市/みつば)

各所で奮闘中!

がんばっています

次頁いよいよ住化ファーム
長野の紹介です! ⇒

(株)住化ファーム長野



住友化学アグログループTSPの取組みと住化ファームの紹介ということで、今回は第1回目として(株)住化ファーム長野をご紹介します。

(株)住化ファーム長野 概要

設立日	2009年5月7日
住所	長野県中野市大字七瀬418 株式会社住化ファーム長野 中野営業所 (選果センター)
お話を伺った人	取締役 藤澤政昭さん (32歳) ※現地の専属従業員で現場の統括・栽培指導
作物・品種	栽培作物は「いちご」のみ 品種は「とちおとめ」が主。⇒新品種を随時試験中
面積	総面積：約1ha (20a+36a+16a+28a) ハウスは4箇所に点在+営業所 (選果センター)
栽培暦	9月定植⇒栽培管理を経て ⇒12月～翌年6月までの長い間収穫
栽培方法	全てハウス栽培 隔離土耕栽培 (栽培用ベンチに培土を入れたもので栽培) 上下2段組みの高設栽培
商品名	ブランド名「純果そだち (すみかさだち)」の とちおとめとして販売

今回紹介する(株)住化ファーム長野です。

★ファームは実験実証の場

住化ファームは新しい農業のための実験・実証の場で、その目的は「地域貢献」です。住化ファーム長野でも、その実験で培ったノウハウ・データを地元へ還元することで、高品質ないちご栽培を画一化して産地化することを目指しています。うまく産地化できれば、中野市は地理的に志賀高原など高原レジャーへの入り口に当たるため、観光客を呼ぶこともでき、地域活性化にも一役買うことができます。



新品種のいちご
(美味しかったですよ!)

★新品種に挑戦中!

企業の強みは、新栽培方法の実験、大規模実験、新品種の試験など一般の農家さんではなかなかできないことができるということです。住化ファーム長野でもその強みを活かして、今年から「とちおとめ」とは別にいくつかの新品種の評価試験をしています。この新品種のいちごは「とちおとめ」に比べて生命力も強く作りやすい反面、酸味が少なくただ甘いだけの印象で味の好みがかかれそうな感じでした。とはいえ季節が移って夏になればもう少し美味しいものになる可能性もあるとのこと、未来に可能性を秘めた品種と期待しています。こちらはまだ試行錯誤ですが、ゆくゆくはこの新品種のいちごをファームの選定品種にしたいとのことでした。

★産地化に向けてスタート

住化ファーム長野は、長野県と新潟県の県境に近い中野市にあります。長野県は日本有数の農業県として知られていますが、中野市でも「きのこ」や、「りんご・ぶどう」等の果樹栽培が盛んです。ところが今回紹介する「いちご」については、ここ中野市近隣では10年くらい前にスタートしたばかりの作物で、当初は1軒の農家さんから始まりました。その後5軒の農家さんとなって約1ヘクタールの栽培面積となりました。面積こそ小さいものの、当初より品質が良く評判だったそうです。そんな農家さんのうちのお1人と協業する形でいちご栽培の標準化、水平展開を目指して設立されたのが、



藤澤政昭さん

次頁へ続く ⇒

★天候に左右される施肥量

中野市で産地化を目指すためには、地元の他の農家さんも短期で習得できるノウハウが必要になります。また、中野市でいちご栽培をするには、地元の天候・気象条件に合わせた施肥灌水の管理条件を見出すことも重要です。例えば、この地方は曇天が多いのが特徴なので、天候も施肥との兼ね合いで気を配る必要があります。曇天と晴天で比べると晴天であれば植物がどんどん光合成をするので施肥灌水量が多く必要ですが、曇天の場合は逆に多く施肥灌水してしまうと、肥料のロスやいちごの品質低下につながってしまうといった具合です。そこで、ここでは日照計と灌水施肥装置を連動させて動かすことで、ロスのない施肥となる工夫をしています。さらに、その天候による施肥実績をデータ化して機器に蓄積し、別途コンピューターに取り出して解析等ができるようにしてあります。データ化することで今後の施肥計画に活かせるだけでなく、この圃場で上手く天気と施肥との調整ができるようになれば、他圃場へ普及することができるようになります。

★追肥管理もシンプルに

産地化を目指すなら、栽培はできるだけ誰でも簡単にできるように・・・と考えている住化ファーム長野では、施肥もできるだけわかりやすくシンプルに追肥管理で行うことを目指しています。通常は栽培前に土の中に肥料を混ぜ込む「元肥」をし、その後、生育状況に応じて追肥をする方法をとる場合が多いのですが、それでは作物がどの段階でどのように肥料を消費したのかがわかりにくいいため、ここでは敢えて元肥をしないで追肥のみで施肥する方法を取っています。こうすれば施肥と生育の関係がわかりやすいだけでなく、施肥履歴がそのまま栽培に関するデータの蓄積となり、ひいてはノウハウの蓄積へとつながります。このように誰でも同じやり方で出来て、誰でも同じ品質のものを作れるようになれば、収量がまとまり、量があれば経費も下がります。その結果、地域の産地化への道も開けます。これこそが住化ファームの当初からの目標であり、この目標に向かって今年も積極的に栽培ノウハウ蓄積に力を入れています。

★「純果育ちの とちおとめ」はリピーター多し



出荷待ちの とちおとめ

住化ファームは実験・実証の場とはいえ、収穫、販売まで一貫して行っています。ここまでを含めて実験と言うべきでしょうか。ここで収穫

された「とちおとめ」は機械で選果され、「純果育ち（すみかそだち）」というブランド名で、主に関東地方を中心に高級志向のスーパーマーケットチェーン『ザ・ガーデン』に出荷しています。とちおとめは一定の大きさのものを1単位4パック×5段として出荷しますが、高品質のためスーパーでの販売価格は1パック 680円前後と高

価なもの、ありがたいことにリピーターが多いとのこと。また、大きいものは、贈答用の商品となります（12個入りでなんと2000円ほど！）。今後は販売を増やして、より多くの方に高品質のとちおとめを楽しんでいただきたいと思っています。

（取材日：1月12日（佐伯））

自らをTSP（トータルソリューションプロバイダー）と位置づけ、日本の農業経営を総合的に支援すると同時に、農業経営を通じて社会貢献を行う・・・住友化学アグログループは、この活動をこれからも積極的に進めていきます。今後どうぞご期待ください。

本シリーズの次回掲載日はまだ未定ですが、次回以降もどうぞお楽しみに・・・！



ハウス全景



ハウス内の様子(夜間気温7℃・地温15℃をキープ)



サンテラ株の
クリンアルファ21

住化アグログループ紹介

日本エコアグロ株式会社

すみが
純果育ち

住化ファーム

「純果育ち」の想いをお客様へ…

「住化ファーム長野」（長野県中野市）の立ち上げから間もなく丸3年になります。総面積1ヘクタールのハウスでイチゴ（品種：とちおとめ）の栽培が行われており、地元のメディアにも大きく取り上げていただきました。



この取り組みの中で、当社は販売を担当しております。『純果育ち』（すみかそだち）という独自のブランドを立上げ、首都圏の高級スーパーを中心に営業を展開しております。今回は、お客様からの評価を確認すべく、発売当初よりお世話になっている【ザ・ガーデン自由が丘】目黒店を訪問し、お話を伺って参りました。

「評判はイイですよ、お客様は正直ですから。『純果育ち』のイチゴの場合、多い日で1日80パックほど売れます。甘味と酸味のバランスが大変良く、ブレが殆どありません。食味が伴って初めてブランドと言えます。また、当店では『純果育ち』の「フルーツトマト」も扱っていますが、こちらの評判も大変良く同一ブランドとしての相乗効果は見逃せません。」

さらに、「市場流通の商品は相場の変動に振り回され、販売計画を立てにくい場面が多々あります。住化ファームの商品は値決めされているので、安心して販売出来ます。あと、売る側の立場として、産地の状況が必要に応じて日本エコアグロから発信される点も安心の1つです」と。



当社としましては、お客様からのお声をファームへ還元し、さらなる進化を目指し、皆様に喜んでいただける商品作りに取り組んで参りたいと考えます。

また、ファームで蓄積した数々のノウハウを周辺の生産者の方々に広げて行きたいと願っております。

今後とも「住化ファーム」を宜しく願います。


日本エコアグロ株式会社

〒104-0032

東京都中央区八丁堀4-5-4

電話 03-3523-8280

[目次へ戻る](#)

今月の肥料紹介 **楽一** :倒伏軽減剤入り 水稲用基肥一発肥料

楽一の展示圃試験結果を、簡易な手作りチラシにまとめました。目で見て効果を確認していただくために、調査時のスナップも入れ、地域密着で「なじみ易く、分かりやすく、ユーモラスに！」を心がけました。



農家の皆様へ コシヒカリを倒れにくく、楽しんで作る 全く新しい基肥一発肥料

銘柄	N-P-K	包装	使用方法	使用量
楽一 21	21-11-10	15kg 袋	全面施用土壌混和	22.5 ~ 30kg/10a
楽一 20S	20-11-11	15kg 袋	全面施用土壌混和・側条施用	30 ~ 40kg/10a



<特長> 1. 基肥一発肥料です。

コシヒカリなどの倒伏しやすい品種の生育期間に合わせ、4種類の肥料(基肥・分げつ肥・穂肥・穂肥)を配合した肥料です。

2. 倒伏しにくくなります。

適切な時期に倒伏軽減剤(ロミカ粒剤と同成分)の効果が現れ、稈長の伸びを抑えます。

3. 収量・品質の安定・向上が期待できます。

稲の生育に最も適した穂肥時期に肥料が効くため、登熟が進み、収量が安定し、粒張りや食味の向上が期待できます。



モデルの膨らんだ
お腹の位置で
稲の草丈がわかります。

調査日：2010/9/1

楽一のお問い合わせはこちらまで・
住友化学株式会社 アグロ事業部 肥料営業部 電話：03 - 5543 - 5783

今月のお奨め農薬

稲の種粒の消毒に

スポルタックスターナSE、ベンレート水和剤、スターナ水和剤、スミチオン乳剤

稲の種子伝染性病害虫の主なものは、糸状菌(かび)によるいもち病、ごま葉枯病、ばか苗病、細菌病のもみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、およびイネシנגアレセンチュウです。早期栽培・加温育苗の普及にともなって、苗代では目立たなかった種子伝染性病害の発生が問題化してきました。加温育苗は稲の発芽適温(32℃)に設定するので、未熟籾や病害虫被害籾も苗に利用できるようになったため、これらが保菌苗(伝染源)となるためです。稲の種粒消毒は健全な苗を得るために欠くことのできない防除作業です。

J Aなどが販売している「消毒済の種粒」は、各県の種子協会の採種圃で採種した種粒であり、品質(品種特性、発芽率)の保証と種子伝染性病害虫の感染防止対策が実施されています。「消毒済の種粒」は種子消毒剤を浸種前の乾燥籾表面に付着させた状態のため、籾内部の病原菌は生きていますが、浸種すると薬剤の効果が発現します。十分な効果を発揮するには水温(10℃以上)と所定の浸種時間を守ることが必要です。

個々の農家(或いはグループ)で消毒を行なう場合には塩水選(比重選)と種子消毒を行なう必要があります。塩水選(比重:うるち 1.13 以上、もち 1.08 以上)は充実した籾の選別と、いもち病、ばか苗病、もみ枯細菌病、イネシングアレセンチュウなどの保菌籾の除去に有効な方法ですが、これだけでは種子伝染性病害虫を防除することはできません。また、種子消毒は籾表面の菌を防除できますが、いもち病、ばか苗病などでは菌糸の一部が籾内部(玄米や胚部など)にまで侵入している場合には防除効果が不十分になることがあります。

塩水選後に行なう種子消毒の方法には温湯処理と薬剤処理の2つの消毒法があります。

- 温湯処理の実施方法(温度条件、浸漬時間)は60℃の温湯に10分間浸漬するのが一般的ですが、十分な防除効果と発芽率の確保には指導機関の指導(湯温・浸漬時間)に正確に従う必要があります。処理後は速やかに冷却をすることも必要です。専用の機械を使用しない場合には、種子全体が均一に処理水温になるよう特に注意が必要です。
- 種子消毒剤を使用する薬剤処理には①浸漬処理(種粒を薬液に漬けて種粒に薬剤を付着させる処理法)、②塗沫処理(適当な容器に入れた種粒に薬液を滴下するなどして、種粒に薬剤を均一に付着させる処理法)、③湿粉衣処理(種粒が湿った状態で薬剤を均一にまぶす処理法)があります。

お奨め薬剤のお奨めポイントは下記の通りですが、種粒の違い(消毒済/未消毒種粒)、地域状況(前年の発生病害虫の種類、発生程度、薬剤耐性の有無)などによって適切な薬剤は変わりますので、指導機関(病害虫防除所、農業試験場、農業普及センター)の指導に沿って選択し、お使ください。

- ①**スポルタックスターナSE**: 主な種子伝染性病害(いもち病、ごま葉枯病、ばか苗病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病)に登録があります。個々の農家で行なう種子消毒にお奨めです。
- ②**ベンレート水和剤**: いもち病、ばか苗病、イネシングアレセンチュウに登録があります。籾内部にまで侵入したいもち病菌糸に高い効果があり、「消毒済み種粒」のいもち病追加防除にお奨めです。
- ③**スターナ水和剤**: 細菌によるもみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病に登録があります。種子伝染性細菌性病害の防除にお奨めです。
- ④**スミチオン乳剤、パダンSG水溶剤**: イネシングアレセンチュウに効果があります。

注) 薬剤によって適用病害、使用方法が異なります。製品ラベルをご確認の上適正にご使用ください。
(鳥取)



[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

施設野菜の灰色かび病防除のポイントとは？

Q 1. 3～4月頃は施設内の湿度が高くなって、トマト、きゅうり、なす、ピーマン、いちご等の灰色かび病の発生が多くなります。灰色かび病防除のポイントを教えてください。

A 1. 何といたっても樹勢を健全に保つ為の適切な肥培管理等が前提ですが、施設栽培における灰色かび病防除で考慮すべき、いくつかのポイントをご紹介します。

- ① ハウス内の湿度が高まると、灰色かび病やべと病が多発する傾向があります。この対策としては、結露を防止することが重要ですので、**暖房機を送風状態**で運転することがポイントです。なお、基本的な多湿防止対策としては、マルチ栽培として灌水はなるべく控え、マルチ下に給水チューブを設置することが有効です。
- ② 伝染源となる菌の密度を低下させる必要があります。その為には、被害葉や被害果実を見つけ次第、ハウス外に持ち出し土壌中に深く埋めるなど適切に処分して下さい。
- ③ **発病前からの予防散布が重要**です。また薬剤散布に当たっては、特に葉裏にも十分かかるように丁寧に散布して下さい。
- ④ 薬剤によっては**耐性菌**が発現している場合がありますので、散布後に灰色かび病の進展を良く観察し効果を確認して下さい。効果が不十分な場合は、系統の異なる薬剤への変更を検討して下さい。
- ⑤ 耐性菌を発生させないように、系統の異なる薬剤との**ローテーション散布**をして下さい。
- ⑥ 降雨が続いたりしてハウス内の湿度が高い状態が続く場合は、液剤散布から「**くん煙剤**」などに切り替えて防除して下さい。



Q 2. 灰色かび病のローテーションを行います。灰色かび病に適用のある殺菌剤とその薬剤系統名を教えてください。

A 2. 灰色かび病に有効な主な殺菌剤をご紹介します。()は有効成分名です。使用に当たってはそれぞれの剤の登録内容や注意事項等を良く読んでお使い下さい。なお、**赤字**は当社取扱品目です。

(注) 薬剤の系統名は「クミアイ農薬総覧 2011」の有効成分特性一覧表の表記に準じました。

- ① **有機塩素系**…ダコニール1000 (TPN)
- ② **ジカルボキシイミド系**…**スミレックス水和剤**・スミレックスくん煙顆粒(プロシミドン)、ロブラール水和剤・ロブラールくん煙剤(イプロジオン)
- ③ **ジエトフェンカルブ系+ペンズイミダゾール系**…**ゲッター水和剤**(ジエトフェンカルブ+チオフアネートメチル)



次頁へ続く ⇒

- ④ **ジエトフェンカルブ系+ジカルボキシイミド系**…スミブレンド水和剤 (ジエトフェンカルブ+プロシミドン)
- ⑤ **抗生物質系**…ポリオキシシンAL水溶剤「科研」(ポリオキシシン複合体)
- ⑥ **抗生物質系+グアニジン系**…ポリベリン水和剤 (ポリオキシシン複合体+イミノクタジン酢酸塩)
- ⑦ **カルボキサミド系**…カンタスドライフロアブル (ボスカリド)
- ⑧ **チオフェン系**…アフェットフロアブル (ペンチオピラド)
- ⑨ **ストロビルリン系+有機塩素系**…アミスターオプティフロアブル (アゾキシストロビン+TPN)
- ⑩ **フェニルピロール系**…セイビアーフロアブル 20 (フルジオキシニル)
- ⑪ **グアニジン系**…ベルコート水和剤・ベルコートフロアブル (イミノクタジンアルベシル酸塩)
- ⑫ **生物農薬**…ボトキラー水和剤・エコショット・ボトピカ水和剤 (バチルスズブチリス菌)
- ⑬ **炭酸水素塩剤**…カリグリーン (炭酸水素カリウム)
- ⑭ **その他**…フルピカフロアブル・フルピカくん煙剤 (メパニピリム)

(注) 上記⑦と⑧は同じ作用性ですのでご注意ください



(小川)

[目次へ戻る](#)



農薬登録情報 1月25日・2月8日の主な新規登録・適用拡大の内容です

新規登録 平成24年1月25日登録
〔殺虫殺菌剤〕箱いり娘粒剤 農林水産省登録 第23033号

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲 (箱育苗)	いもち病 紋枯病 白葉枯病 もみ枯細菌病 穂枯れ (ごま葉枯病菌) ウンカ類 ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ イネツトムシ フタオビコヤガ コブノメイガ	育苗箱 (30×60×3 cm、 使用土壌約5L) 1箱当り50g	移植3日前～移植当日	1回	育苗箱の上から 均一に散布する

クロチアニジンを含む 農薬の総使用回数	スピネトラムを含む 農薬の総使用回数	イソチアニルを含む 農薬の総使用回数	フラメトピルを含む 農薬の総使用回数
4回以内 (移植時までの処理は1回、 本田での散布、空中散布、 無人ヘリ散布は合計3回以内)	1回	3回以内 (移植時までの処理は 1回、本田では 2回以内)	2回以内 (育苗箱散布は 1回)

適用拡大

種類	薬剤名	変更点	作物	病害虫名/ 使用目的	使用濃度	使用方法ほか
殺虫剤	プレオフロアブル	希釈倍数 変更	だいず	ハスモンヨトウ		「無人ヘリコプターによる散布」の 希釈倍数「16倍」 「8～16倍」に変更
植調剤	STジベラ錠	使用回数 変更	不知火 はるみ	「ジベレリンを含む農薬の総使用回数」 「1回」 「3回以内」に変更		
		使用濃度 使用方法 追加	温州みかん	花芽抑制による 樹勢の維持	ジベレリン 10ppm	収穫直後～収穫約1ヶ月後 1回 立木全面散布又は 枝別散布(プロヒドロジャス モン2000倍液に加用)

(阿部)

[目次へ戻る](#)

病害虫発生情報

2 / 9 ~ 14

石川県* 2月9日 特殊報 すいか / スイカ果実汚斑細菌病 [*Acidovorax avenae* subsp. *citrullii*]

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.ishikawa.lg.jp/noken/iffnet.html>

→現時点ではHPに反映されていません。

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。

(小川)

[目次へ戻る](#)

トピックス

茶専用の殺虫剤「プルート[®]MC」が 「農林水産技術会議会長賞」を受賞

2月2日、「新規農薬製剤「プルートMC」の開発と普及」に対して、「農林水産技術会議会長賞 民間企業部門」が授与されました。本賞は農林水産省と（社）農林水産技術情報協会が主催するもので、農林水産業その他関連産業に関する研究開発に顕著な功績・功労のあった民間の個人又はグループが表彰されます。

プルートMCの有効成分であるピリプロキシフェンは、茶で問題となっているクワシロカイガラムシに対して高い防除効果を示しますが、蚕に対してはごく低濃度でも非常に強い影響を示します。そこで、養蚕地域への意図せぬ飛散を防ぐために、飛散リスクが低く高い防除効果を示すマイクロカプセル製剤を世界に先駆けて開発すると共に、徹底的な販売管理体制を構築しました。

製剤の工夫としては、マイクロカプセルの「セルフバースト機能」が挙げられます。これは、茶樹に付着した散布液中のカプセルが、水分の蒸発にともなって速やかに崩壊し、有効成分が茶樹上に放出される機能であり、これにより飛散リスクの低減と高い防除効果を両立させることができました。



表彰式にて

管理面では、養蚕施設周辺に使用制限地域を設定し、養蚕事故防止の説明会に出席した農家のみに対して必要量を予約販売することにしました。また、残液と容器の回収システムを農薬として初めて確立しました。これらの方策により、事故の発生を未然に防ぐ体制が構築できました。

以上の取り組みが高く評価されたことが、今回の受賞につながりました。プルートMCの開発・販売にご協力頂いた関係各位に、改めて御礼申し上げます。

(アグロ事業部 開発・マーケティング部)

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪

食べさせたい&褒められたい

夫婦で共通の友人が多いのと、集まりやすいということから、我が家で人が集まって呑み食いすることが多いです。結婚したての頃は料理も慣れていなかったもので、四苦八苦しておもてなし料理を作っていました。最近はいいかげん慣れたのと、ちょうどよい手抜き加減も覚えたせいか、かなりラクチンになりました。しかも最近、どうせなら・・と、集まるメンツによって作る料理を変えてみたりしています。最近、我が家で2回ほど会合があったのですが、1回目と2回目とは全く毛色の違うメンツでしたので極端に料理を変えてみました。

1回目は言わば「オジサン呑み」です。我々夫婦入れて10名ほどが集まったのですが、その中で女性は2人のみ、あとは同年代かそれ以上の男性という渋い面々。そういう人たちが集まる時に私が真っ先に考えるのは「(一人暮らしの人もいるので)何としても野菜を食べさせねば・・！」ということです。そして、たいがいそんなメンツで呑むお酒は、ビールか焼酎、日本酒と相場は決まっています。従って料理は和食・おふくろ系おかずになります。ということでこの日は「居酒屋 佐伯」開店と相成ります。

今回は、前菜(つきだし)に2品、サラダ2種(キャベツのコールスロー・マカロニサラダ)、おでん、鍋物(味噌味の寄せ鍋・うどん)、ソーセージと、買ってきた鶏唐揚げとお刺身の9品で、それぞれに野菜をちりばめました。これだけ大量に野菜をさばくのは意外と大仕事になりますが、野菜不足の人たちに食べさせられる！という満足感の方が大きいので気になりません。会合が終わる頃、この9品はほぼ売り切れ状態となり、今回も野菜食べさせ作戦は成功しました。

一方、2回目の会合は、前回とうって変わって「おしゃれ女子会」です。今回も10名ほどが集まったのですが、その中で男性は2名のみという我が家始まって以来の女子率の高い会合でした。こうなると、前回のような渋い家庭料理ではなく、華やかな料理でもてなしをしたくなります(←要は褒められたい(笑))。また、今回は、嬉しいことにそれぞれが持ち寄りで料理を持ってきてくれることになったため、たくさん作る必要もなく一品一品に「時間をかける」ことができました。ということで、この日の我が家はちょっとおしゃれな「ビストロ佐伯」に変身しました。

ビストロ佐伯で準備したのは、ブルスケッタ2種、えびとマッシュルームのピンチョス、スモークサーモンとクリームチーズ(ソースは手作り)、カレー風味のマカロニサラダ、白菜とベーコンのコンソメスープの6品。そして、持ち寄りとしてお客様が持ってきてくれたのが、ペンネのアラビアータ(なんと鍋ごと持ってきてくれた)、かぼちゃのサラダ、ハムとりんごのチーズ焼など字面だけ見ても、いかにも「おしゃれ」な感じの品々。華やかな料理は、色とりどりで食卓が本当に色んな色で彩られて綺麗です。思わず、お花も飾ってみました(笑)。

いつもはどっちかというと「居酒屋 佐伯」になることが多いのですが、「ビストロ佐伯」も新鮮でたまには良いもんですね。実は両方に出席していた友人(女性)が居るのですが、ビストロの時に私の料理を見て「今までこんなの出た(見た)ことないよ！」と驚いていました。しめしめ。こういう驚きも作る側にとってみれば嬉しいものです。料理は生きるための家事の一つですが、私にとってはお楽しみのための楽しい作業でもあります。何しろプロではないので気がラク！(笑)忙しい毎日ですが、今後も時間の許す限り楽しみたいと思います。

(佐伯)



[目次へ戻る](#)

～編集後記～



旧東海道に面した「きく宗」

今回は愛知県特産の「冬キャベツ」生産農家さんを訪問することで、新幹線で豊橋市に出かけることになりました。当日は温暖な東三河地方とは思えないような寒波到来で、曇り空ということも相まって最高気温が6℃という厳しい天候に迎えられました。出かける前から楽しみにしていたのが、豊橋で200年ほど前に創業したという「菜めし田楽 きく宗」での昼食でした。「きく宗」は江戸時代（文政年間）から、ここ吉田宿（現愛知県豊橋市）で「菜めし田楽」ひと筋で暖簾を守ってきた老舗です。

細かくきざんだ大根の葉を混ぜ合わせた「菜めし」を、こんがり焼いた自家製豆腐に「きく宗」秘伝の味噌（八丁味噌？）、からしを塗った「田楽」とともに食する、初めての食体

験が出来ました。何とも言えないさっぱりした健康的な食材で、メタボの二人にはぴったりのお店でした。皆さんも豊橋に行ったときは、ぜひ「菜めし田楽」を味わってみてください。なお、デザートとして、小さな団子もひと串添えられていました。

ここ吉田宿は東海道34番目の宿場で、吉田城下ということもあり、街道筋でも大変賑わいを見せていたそうです。東海道きっての遊郭や旅籠が軒を連ね「吉田通れば二階から招く しかも鹿子の振袖で！」と唄われた程で、夜ともなれば紅灯の下に旅人達の群れが絶えることがなかったといわれています。ということで「きく宗」もこの旧東海道に面し、今も昔も街道を上り下りする私達のような旅人に支えられているようでした。

（小川）



これが名物「菜めし田楽」です



食事処の上品な生け花

出張で、今では珍しくなった路面電車が走る愛知県豊橋市に行ってきました。新幹線の豊橋駅から車で20分も走るとキャベツ畑です。また、豊橋市は静岡県境に接し、浜名湖は直ぐ側です。駅の土産物屋には浜名湖名物のうなぎパイが並んでいました。訪れたキャベツ畑は一区画が2～30アールで、周りが市街地に囲まれた農地で、一面のキャベツ畑を想像していたのとは違いました。畑は早魃のため玉の肥大が不十分で、折角の高値相場なのに収穫玉数が足りないとのこと。

昼食後デザートに、栗善哉とおしる粉を二人で頼んだのですが、善哉がとろみのある漉し餡で、おしる粉が小豆の粒で出てきたので、驚きました。後で調べたら関西では善

哉は粒餡で、おしる粉は漉し餡で作ったものを言うそうで、関東ではおしる粉は粒餡も漉し餡も含むのだそうです。豊橋は関東圏なのですね。

帰りの新幹線で韓国のだぶろくであるマッコリを買って飲みました。穏やかな炭酸の酸味と米を醗酵させた甘みが溶け合って独特の味でした。アルコール度数は6～8%で飲みやすく生ビールみたいに大量に飲めないのが、お酒の弱い人にも合いそうです。但し、マッコリは基本的に醗酵を止めない生酒なので、醗酵の進み具合によって同じ銘柄でも味が変わります。自分の好みの酸味と甘みのバランスを見つけるのも楽しみですが、一方当たり外れがあります。冷たく冷やしてアルコール入り微炭酸飲料として飲むのが一押しです。

（鈴木）

次月号の - 農力だよりは
3月30日（金）の発行予定です。
どうぞお楽しみに！！

[目次へ戻る](#)